

| | | | | | | | | | |
|------------------|---|------|----|---------|----|-------|--------|-----|--|
| 講義コード | 11C0101206 | 授業形態 | 演習 | 事前登録の有無 | なし | 担当教員 | | 開講期 | |
| 科目名 | 英語総合スキル2 E | | | | | ファーロウ | デイヴィッド | 第2期 | |
| 履修前提条件 | | | | | | 備考 | | | |
| 授業の目的 | これまで学んだ基礎的内容を応用し、英語学習の四つの側面（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）とプレゼンテーションスキルなど、オールラウンドな英語運用能力の向上を目指す。将来、国際社会に生きる社会人として相応しい、より高度で実践的な読解、作文、聴解、会話力などを身につける授業を行なう。TOEIC ではこれまでより高い得点を取得し、就職試験の準備に役立てることを目標とする。 | | | | | | | | |
| 到達目標 | 以下のうち、4つ程度を選択し、目標達成することを目指す。 1. 語彙数を第1期より200～300語程度は増やす。 2. 英文をすばやく読むために必要な正確な文法を習得する。 3. 応用的で、難易度の高い英文まで読めるようになる。 4. リスニングでは、より高度な会話やアナウンスの内容を詳細に理解でき、ディクテーションもできる。 5. 聞き取った内容について、さらに表現力を増やして、意見やコメントを述べたり、書いたりすることができる。 6. 自然な英語の発話リズムを身につける。 7. TOEIC では、これまでよりいっそう高いスコアを目指す。 | | | | | | | | |
| 授業外学修内容・授業外学修時間数 | 1. 次の授業に向けて教科書等を読み、理解する。 2. 担当講師から与えられた課題を行う。 3. 単語等、前回学習した内容を復習する。 4. 大学の WebClass が提供する e-learning を活用する。 5. テレビ、ラジオなどの語学講座や、インターネット上の英語関連サイト、参考書等を有効に使う。 上記の学修を15時間以上行うこと。 | | | | | | | | |
| 授業計画 | 【第1回】～【第15回】 ①リーディング・リスニングを中心に、応用的テクニックを習得する。それに伴い、スピーキング、ライティングの応用能力も適宜習得する。 ②よりハイレベルな TOEIC 対策を行う。 | | | | | | | | |
| 成績評価の方法 | 期末、小テスト等の各種テスト（60%）、授業への参加態度（40%） | | | | | | | | |
| フィードバックの内容 | | | | | | | | | |
| 教科書 | 各担当講師の指示に従う。 | | | | | | | | |
| 指定図書 | 『TOEIC 新公式問題集 Vol. 6』 Educational Testing Service（著）、国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会（編集）（国際ビジネスコミュニケーション協会）2014年 | | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | | |
| 教員からのお知らせ | ①教科書や辞書は担当の先生の指示に従ってください。 ②大学の WebClass が提供する e-learning を積極的に活用してください。TOEIC の e-learning を利用した場合の評価基準は、各担当の先生に確認してください。 ③ TOEIC 団体試験（9月末～10月始め）の結果は担当教員に提出され、成績評価に加味されます。4月から10月までに行われる TOEIC 試験で、各自の TOEIC スコア最高値が、2年次の English Intensive Class (EIC) の平均値を上回る場合、3年から EIC に編入することができます。EIC に加入すると、TOEIC のスコアを伸ばし、英語運用能力全般を伸ばす EIC 限定授業を履修することができます。 | | | | | | | | |
| オフィスアワー | 本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。 | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | |